

市民アンケート等によるニーズの整理

1. 全国の道の駅に対するニーズ

※2010年・2017年JAFによる

道の駅に関するアンケート調査より抜粋

図1-1:道の駅を利用する主目的
【食事・買物】
【休憩・トイレ】



『食事・買物・休憩・トイレ』ができる施設として定着。

図1-2:ドライブにおける「道の駅」位置づけ

【特段目的がなければ寄らない】

2010年 ⇒ 2017年 約21%増加

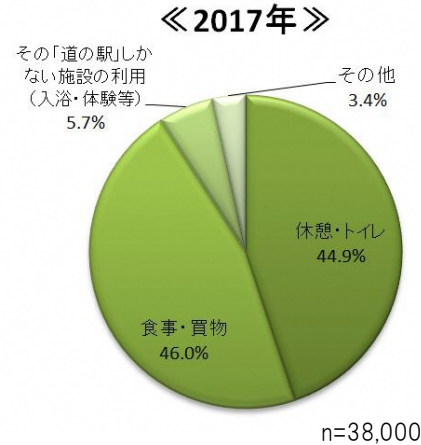
【走行中、見かけると必ず立ち寄る】

2010年 ⇒ 2017年 約25%減少



魅力のない「道の駅」には立ち寄らない傾向が高まった。

図1-1 道の駅を利用する一番の目的

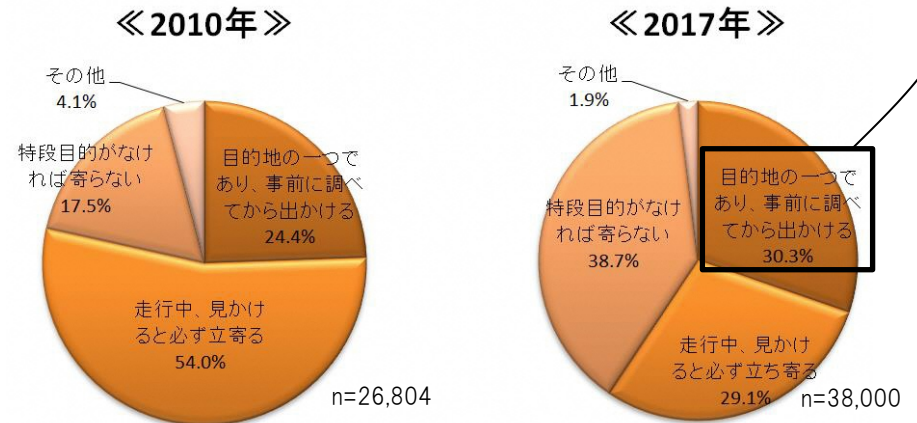


道の駅を利用する際に、事前に何の情報を調べてから出かけるのか

- | | | |
|----|--------------|-------|
| 1位 | お土産(特産品含む)情報 | 44.2% |
| 2位 | レストラン・食堂情報 | 37.9% |
| 3位 | 営業時間 | 13.2% |
| 4位 | その他 | 3.8% |
| 5位 | EV充電器 | 0.8% |

事前に何らかの情報を調べて出かける人の8割以上が「買物・食事」となっている

図1-2 ドライブにおける「道の駅」の位置づけについてあてはまるもの



出典: JAF 道の駅に関するアンケート調査結果

2. 市内観光客の道の駅に対するニーズ

※平成29年度基礎調査 市内観光客アンケートより抜粋

図2: グリーンランド及び万田坑来訪者の要求

【おいしい食事】

【きれいで清潔なトイレ】

【新鮮な農水産物】

『食事・買物・休憩』ができる施設として定着。

◎来訪者の意見・キーワードのまとめ(参考)

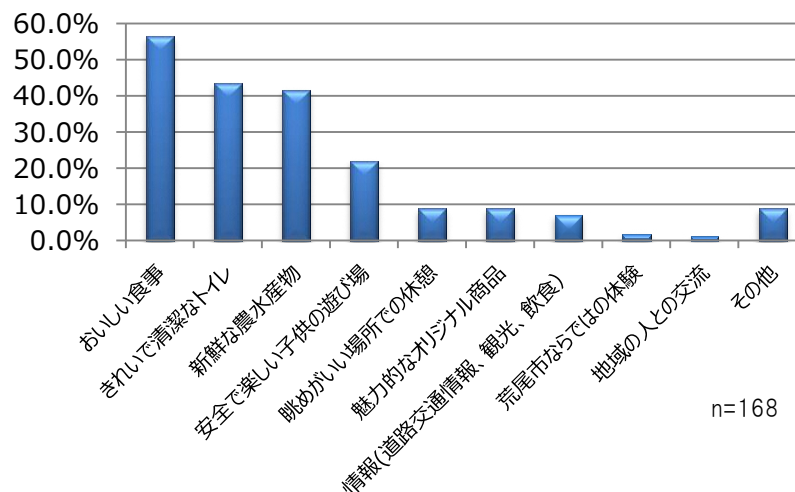
商品について ○新鮮・旬・オーガニックの農水産物 ○地元・郷土料理 ○おいしいソフトクリーム ○生鮮3品(魚・野菜・肉) ○梨関係
○万幸堂・焼きたてパン ○お土産の充実 ○馬刺し関係 ○バイキング、ファーストフード、屋台 ○子供向け・アレルギー対応メニュー
○荒尾を代表するメニュー、新しい名物の開発 など

施設・設備について ○ペット対応 ○授乳室 ○休憩所 ○電気自動車の充電 ○フリーWifi ○公園 ○プール、釣り場
○シャトルバス ○カフェ ○温泉、足湯 ○ATM ○ガソリンスタンド ○キャンプ場 ○座敷の休憩所 ○映画館 ○展望所
○キッズスペース ○インスタ映え ○館内放送等、迷子対策 ○広い道、スムーズな駐車場 ○車中泊可能な駐車場

トイレについて ○多目的・洋式 ○広くて清潔感 ○子供用(おむつ台) ○虫が入らない ○混まない ○化粧室、パウダールーム

魅力づくりについて ○ここにしかない、ここでしか体験できない ○定期イベント ○潮干狩りや地引網等 ○交流できる ○イベントのPR
○眺めの良い場所で食事 ○差別化 ○品物の充実 ○1億円トイレ並みのインパクト ○くまモンのようなキャラクター ○食べ歩き

図2 道の駅あらお(仮称)が整備された場合期待する事
※基礎調査グリーンランド・万田坑来訪者アンケート



3. 市民の道の駅に対するニーズ

※平成30年度 道の駅整備に関する市民アンケートより抜粋
 市民対象 無作為抽出2,000名の内、961名より回答(属性等については、別添アンケート報告書を参照)

図3-1:道の駅への期待

【新鮮な商品や特産品が購入できる(618票)】

【買い物・食事が便利になる(391票)】

【産業の活性化になる(321票)】

【『食』が楽しめる(312票)】

新鮮な農水産物の購入やおいしい食事を味わいたいなど、「食」により地域経済を活性化して欲しいという期待がある。

図3-2:充実させてほしい施設

1位【①直売施設】

2位【③飲食施設】

買い物や食事ができる施設を充実させて欲しいという期待がある。

図3-1 道の駅あらお(仮称)が整備された場合何に期待するか (ソフト面)

※市民アンケート

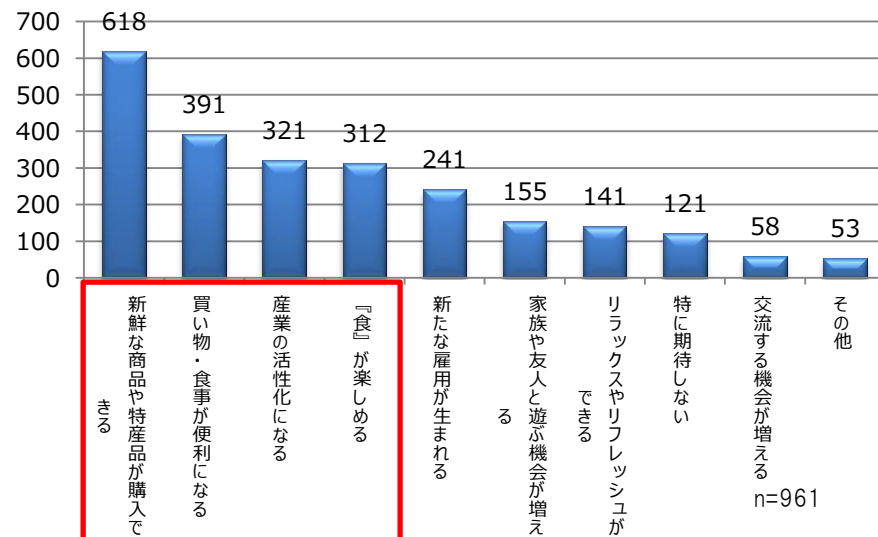
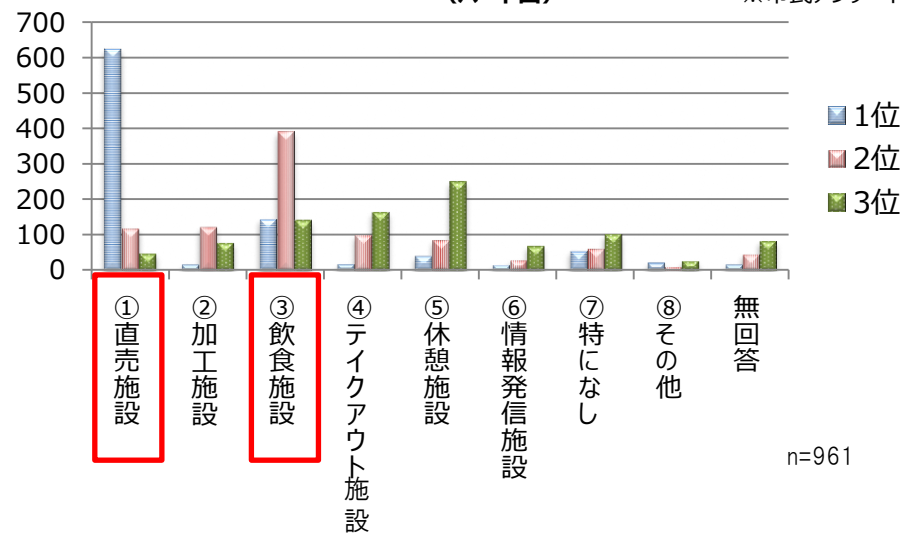


図3-2 道の駅あらお(仮称)が整備された場合充実させたいと思う施設は何か (ハード面)

※市民アンケート



4. 市内関係団体の道の駅に対するニーズ

※平成29年度基礎調査 市内関係者アンケートより抜粋
(商工業関係/農水産業関係/地区協議会などから回答)

図4-1:期待する事項

【地域内外からの集客・消費の拡大】

【地域情報の発信による地域の活性化】

【地域ブランドの創出】

【地域内外の来訪者の交流拠点】

【周遊観光の促進】

【農林水産業の活性化】

図4-2:懸念する事項

【商品の供給力】

【魅力づくり】

魅力のある商品構成などにより、地域内外から多くの来訪がある交流拠点であり、また、地域経済を活性化させる施設であってほしいという要求が表れている。

図4-1 道の駅あらお(仮称)が整備された場合の期待する事項

※基礎調査/市内関係団体アンケート

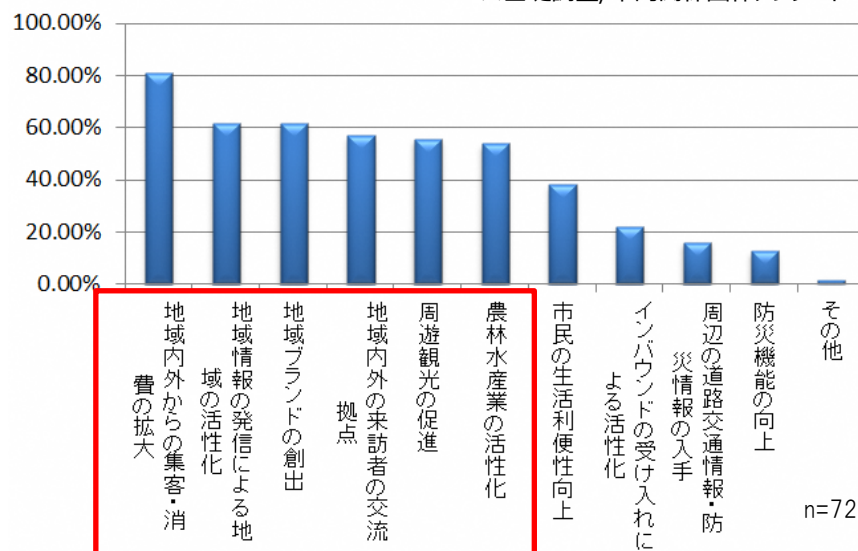
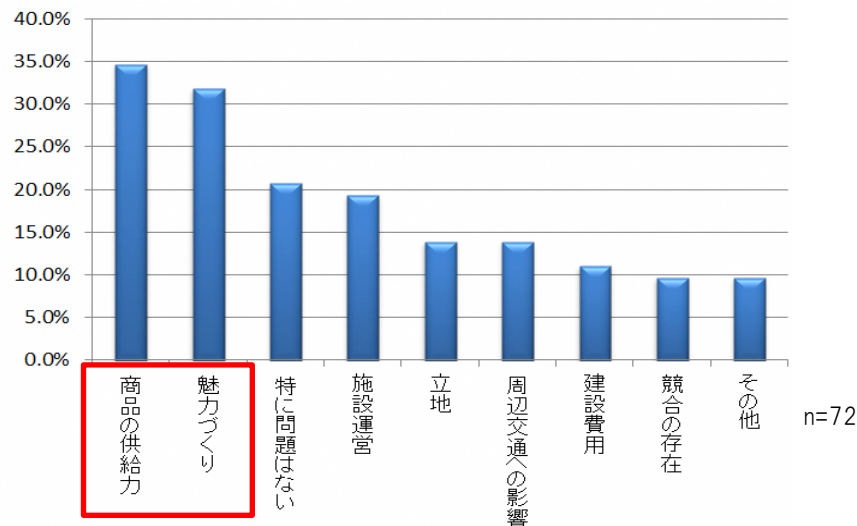


図4-2 道の駅あらお(仮称)が整備された場合の懸念する事項

※基礎調査/市内関係団体アンケート



道の駅あらお(仮称)の開業において、「出店」「出荷」など、関係する可能性のある団体へのヒアリングを行い、以下のような意見が出されました。

※ヒアリング対象団体

荒尾商工会議所・荒尾市観光協会・荒尾飲食店組合・玉名農業協同組合・荒尾酪農業協同組合・荒尾漁業協同組合・熊本北部漁業協同組合・食生活改善推進員協議会・ありあけの里

道の駅あらお(仮称)の開業におけるビジネスでの関わり

- ・全ての団体において、出店・出荷及びその他の連携、協力が可能

道の駅あらお(仮称)の整備における懸念

- ・ありきたりの道の駅ではなく、荒尾の特徴を持った道の駅にしないといけない
- ・完成、開業がゴールではなく、スタートとなる考え方での整備が重要
- ・出荷する農水産物の量が少ない。仕入れを行うことも良いが、スーパーとの差別化が出来るのか

道の駅あらお(仮称)の整備における加工品・飲食施設に関して

- ・食(飲食・お土産品など)は重要で、どこまで荒尾の特徴を出せるかがポイント
- ・マジック、海苔、アサリ、イソギンチャク、梨などを材料とした飲食メニュー及び加工品の開発(梨の加工品はすでにある・メロンパンも有名)
- ・荒尾の乳製品は質が高いので活用していくべき
- ・地元の事業者の出店が望ましい

その他

- ・道の駅と市内の誘客施設との連携を図り、市内における回遊性の向上がポイント
- ・緑地公園など家族で楽しめる場の整備
- ・景観が楽しめるデッキの整備(飲食も景観を楽しめる環境での提供が望ましい)
- ・食育の取り組みや料理レシピの提供
- ・干潟・小代焼などを活用した体験プログラムの整備が荒尾らしさを出せるカギ

＜ニーズ整理の結果＞

●来訪者

- ・おいしい食事
- ・新鮮な農水産物

●市民

- ・新鮮な商品や特産品が購入できる
- ・買い物や食事が便利になる

●生産者や飲食等の事業者

- ・地域ブランドの創出
- ・農林水産業の活性化(出店・出荷)



**「食」を中心に
市民・来訪者が集い、
地域経済が循環する
拠点を創る**